



巡回相談の申し込みありがとうございます！

本校では、コーディネーターが保育所、幼稚園、学校を訪問して巡回相談を行っています。1学期は小学校6件の相談がありました。主な内容としては、行動面（集団活動に参加しにくい、学習に集中しにくい、落ち着きがない、姿勢の保持が難しいなど）、学習面（授業の手立て、学力や算数の学習理解）についての相談でした。



今後とも巡回相談や教育相談をご活用いただければと思います。

相談窓口の紹介 Tel0735-31-6101



聴覚支援体制の新しい形

聴覚支援が必要な方は県内に約300人おり、和歌山ろう学校がその中核となって県内全ての圏域を、きのかわ支援学校、はまゆう支援学校、みくまの支援学校と連携しながら相談業務に携わってきています。

4校連携のイメージ



これからは、和歌山ろう学校とはまゆう支援学校が紀北と紀南のそれぞれの拠点となり、きのかわ支援学校、みくまの支援学校と連携して相談支援をし、そして、より専門的な対応が必要となった場合は、和歌山ろう学校の人材や教材等の資源を活用し、相談支援をするといった連携の形を目指します。

みくまの支援学校でも、和歌山ろう学校主催の研修会にリモート参加したり、聴覚支援の巡回相談に同行して研修をする機会を増やしたりして取組を進めています。



あなたのコミュニケーションタイプは？ ～Co研修より～

教育相談や巡回相談では、保護者や担任の先生など、初めて会う人と話をする機会がたくさんあります。「何を」「どう」話せばいいのか。良好な関係を築けるだろうか。そんな時はとても不安になります。

人にはそれぞれ感じ方が違うように表現の仕方にも違いがあります。そんな時にヒントになるのがコミュニケーションタイプです。それぞれのタイプの特徴は右の通りになります。

コントローラー	行動的で自分が思ったとおりに物事を進めることを好む
プロモーター	アイデアを大切にし、人と活気のあることをするのを好む
サポーター	他人を援助することを好み、協力関係を好む
アナライザー	行動に際して多くの情報を集め、分析、計画を好む

タイプが分かれば、コミュニケーションに活かすことができます。ちなみに Co は全員アナライザーでした。失敗や間違いを嫌うアナライザーには、答えを急がせるような質問は避けた方がいいかなというふうに活用できます。



初めての巡回相談

神倉小学校より交流人事で1年間お世話になっています。これまで、巡回相談で小学校へコーディネーターの先生に来て頂き、的確な助言を頂くことができ、子どもの支援に生かすことができました。今回、巡回相談に同行させて頂くことになり、コーディネーターの先生方がどのような助言をされているのか、また、どのようなことに配慮されているのか、学ばせて頂きました。

同行させて頂いた小学校の巡回相談では、通常級と知的学級の授業を見せて頂きました。どの学級も担任の先生が、配慮が必要な児童への手立てをしっかりとされていて、巡回相談の連絡を受けた時期より落ち着いた様子でした。担任の先生との面談では、コーディネーターの先生が、手立てがしっかりとされていること、子ども達が落ち着いて授業を受けていることを伝え、担任の先生に「この手立てで大丈夫だ」という安心感を持ってもらうようにされていました。その後、配慮が必要な児童への手立ての仕方や保護者や相談機関との連携等提案されていました。

みくまの支援学校の先生方は、たくさんの専門知識・経験をお持ちで日頃から学ばせて頂くことが多いのですが、巡回相談ではその知識・経験から導き出される助言を織り交ぜ、担任の先生に寄り添いながら、一緒に手立てを考えていく、そんな姿勢で巡回相談をされていることを感じました。(品田)